

広報

# やまと

11月号  
2012 No.224

大和村立大槌小学校

## 「いも〜れ学校！」

特集

地域が育む『かごしまの教育』県民週間

### もくじ

- 02-07 特集：「いも〜れ学校！」
- 08-13 村の話題：村民体育大会開催、ほか
- 14-15 お知らせ：狩猟者のみなさまへ、ほか
- 15-16 連載：いきむんマンディ、ほか

大和村立大槌小学校



上手に焼きあがったスイートポテトを前に記念撮影

### おいもでスイーツづくり

大棚小学校では、健全な心身を培い豊かな人間性を育むことを目的として地場産食材を利用した食育に取り組んでいます。11月6日は、1・2年生(担任・坂口美由紀教諭)の児童8名が生活科の時間を利用してスイートポテトづくりに挑戦しました。

食材となったサツマイモは、地域の高齢者から苗の提供や栽培の指導をいただき、学校内の畑で栽培した立派な

特集

# 「いもくれ学校！」

鹿児島県教育委員会は、学校・家庭・地域の連携の下、県民一人一人が鹿児島の教育について考える気運を高め、本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月1日から7日までの間、「地域が育む『かこしまの教育』県民週間」を設けています。

本村においては、「いもくれ学校週間」と銘打ち、村内の小中学校を開放。できるだけ多くの方々に学校や子供達の様子を見てもらおうと、通常の授業の他、特色ある行事を開催。期間中は、延べ620名の方々が学校を訪れ、授業や学習発表会などの様子を参観しました。

大和村では、平成23年4月に村内五つの小中学校のうち中学校を統合し、新設大和中学校が開校。村内の学舎は大きく様変わりしました。複数の校区から生徒が集い切磋琢磨する大和中は学校キヤッチフレーズのおどり「個性の花咲く」学校になりました。また、極小規模校となった名音小や今里小は、学校、保護者、地域がより一層の結びつきを深めた教育活動を展開しています。

「広報やまと」では、いもくれ学校週間に各学校で行われた取り組みや、子供達が元気に学ぶ姿をご紹介します。各学校の現状を知ること、子供達の見守りや声掛けのきっかけとなり、一人でも多くの方が学校を訪れていただければ幸いです。

## みんなが笑顔になる授業

おいも。子供達は蒸し上げたおいもにバターやグラニュー糖を加え木ベラでペースト状にすり潰していききました。中には調理の合間に器具や手に付いた生地を口にし、「甘い！」と歓声を上げ目を丸める子も。

焼き上がったスイートポテトは給食のデザートで試食したほか、家族やお世話になった高齢者のみなさんに届けたとのこと。子供達はスイーツづくりを通して、自然の恵みを味わうとともに、家族や地域の人々に感謝することができました。

### 収穫の恵みで餅つき

11月2日、大棚小学校では、地域の老人クラブの方々からの指導を受け、餅つきを行いました。

校内にあまい匂いが広がると、餅米の蒸し上がり。石臼に移して、さっそく餅つきの始まりです。「よいしょ〜！よいしょ〜！」と威勢の良い掛け声や笑い声とともに、「もっと力を入れないと！」「真ん中を狙ってつきなさい！」と地域の先輩からの激励を受けました。



「よいしょ〜！よいしょ〜！」と周りも応援

つきあがった餅はすぐに小さく丸めて形を整えます。高齢者の話では「昔はお餅が食べられるのは年末年始の1度きり。つきあがったお餅に少しの黒糖をかけて食べるのが、ご馳走だった」とのこと。子供達は「自分たちで育てたから余計においしく感じる！」と、満足そうな顔でほおばっていました。

田植えから草取り、稲刈りなど、全ての段階で地域の方々からのアドバイスを受けて収穫できた餅米。いつも優しく見守ってくれた地域の方々への感謝の気持ちも膨らんだようです。

みんなで力を合わせて作り食べる食事は楽しい。美味しい料理を食べるとみんな笑顔になる。「いただきます」と手を合わせ感謝しよう。

### 高齢者とのふれあい給食

今里小学校では、いつもお世話になっている今里老人クラブの方々をご招待してふれあい給食会を開催しました。この会は高齢者との交流を深めることで子供達の豊かな感情を育もうというもの。高齢者のみなさんから昔の学校の様子や給食のことについて聞いたり、自分たちの普段の様子をお話して交流を深めました。いつもの少人数と違うにぎやかで楽しい給食でした。



この日のメニューは一番人気の「鶏飯(けいはん)」

# 達人の技に触れる授業

## 五輪メダリスト／松本直美

11月14日、オリンピックメダリスト松本直美さんによるソフトボール教室が大和小学校5・6年生の17名を対象に行われました。

同教室は、文部科学省・公益財団法人日本体育協会の「子どもの体力向上啓発事業」の一環として実施。トップアスリートが自らの豊かな経験と卓越した技術をもとに指導を行い、子供達が主体的にスポーツに親しむ態度や



捕球から送球へのスムーズなステップを学びました

正しい生活習慣を身につけることを目的として開催しています。

松本直美さんは女子ソフトボール日本代表としてアトランタ、シドニーオリンピックに出場し、シドニーオリンピックでは銀メダルを獲得。日本代表キャプテンとしてチームをまとめ、宇津木妙子監督いわく「世界一のキャプテン」と絶賛された方です。

教室の冒頭、松本さんは「自分の夢や目標を持ち、努力をすることで夢や目標が達成できるので決して諦めずに頑張ってください」と語りました。

教室では入念な準備運動やランニングで体をほぐした後、キャッチボールや捕球、送球、バッティングの指導を受けました。

バッティング練習では、運動が苦手な「私はいいです」と遠慮がちの子供に対し先生は「最後まで諦めないで頑張ろう」と声をかけ後押し。打席では空振りが続きましたが「最後までボールを見てバットを振って」とアドバイスするとヒット性の当たりが出始めました。先生の指導と諦めない心で苦手を克服し、楽しそうにバットを振る子供たちの笑顔がとても印象的でした。



引地先生との3つの約束を守ってロボットづくり

## 工学博士／引地力男

大和小学校では11月1日、熊本大学から引地力男准教授（工学博士）をお招きしロボット出前講座を開催しました。

講座は1年生から6年生まで全46人が参加し、電動モーターで不規則に4輪走行を行うロボットづくりに挑戦。

引地先生は講座の開会に当たり、ロボットが現代社会に果たしている役割について、宇宙開発や生産工場にとどまらず高齢者や障害者の介助、家庭で



グループで協力してネジとビスを締めていきます

の掃除など身近で幅広く活躍していることを説明。また、これからの社会の発展のためにはロボット製作のさらなる技術革新と技術者の育成が必要だともお話し下さいました。

引地先生は製作に先立ち全員がロボットを完成させるために子供達と次の約束をしました。「まず工具や部品を大事に取り扱うこと。次に先生の話をしっかりと聞くこと。そして友達と協力して進めること」の三つ。

ロボットづくりは大きさの異なる多数の部品を使用するので、先生は部品

を無くさないために必要な時に必要な部品だけを袋から取り出すように徹底します。しかし、中にはネジを落として無くしてしまう子も。そんな時先生はすぐに替わりの部品をあげることはせずにグループ全員で探すよう指示。全員が協力して部品を探し出しました。

指示された工程を終えた子供は先走ることなく隣の補助を行ったほか、上級生は下級生をフォロー。協力して製作した甲斐あって全員がロボットを完成させることができました。手作りロボットに触れることでモノづくりの魅力を感じた授業でした。

## 伝統工芸士／円山米子

名音小学校では本場奄美大島共同組合から講師をお招きし、奄美大島の伝統工芸品である大島紬について学びました。

まず、同組合職員の蘇畑智さんが大島紬の歴史や製作工程をDVDにより説明。大島紬の原料は、一反を織り上げるために生糸にして600g、蚕にして1,700頭が使用されること。作業は「図案、糸繰り、製経、糊張り、締加工、テーチ木染め、泥染め、加工、製織、検査」といくつもの工程を各職人が分業で行うこと。完成までに半年

から2年間を要することなど、どれもビックリした様子でした。

座学の後は、機織り伝統工芸士の円山米子さん（龍郷町出身）が機織りを実演。円山さんのリズムカルな手足の動きに子供達は「すごい」と見入っていました。

実演の後はいよいよ機織り体験。子供達は（先生も）交互に機に座り糸を織りました。両足を交互に踏んで縦糸を操り、「ヒズイキ」と呼ばれる横糸のまかれた糸車を左右に転がし「トント」とおさの音を刻みます。中にはテンポ良く織り上げ、講師の円山先生が「お母さんが機織りをしてるの？」と感心するほど上手な子もいました。

子供達に体験教室の感想を尋ねると、川畑光智慧さん（小2）は「大島紬の歴史や製法を学んだのでおうちで家族に伝えたい」と述べたほか、勝えりいさん（小4）は「機織り体験は楽しかった。将来、大島紬を織る仕事に就きたい」となどと答えてくれました。

生活スタイルの変化や和装離れなどにより大島紬業界は永らく低迷。織り子と呼ばれる工芸士も激減し、子供達ならずとも機織りを見る機会は少なくなりました。今回の授業で子供達は本物の大島紬に触れ、伝統工芸品の価値を再認識。郷土の文化に誇りを持つたことでしよう。

達人は絶対に夢を諦めない。夢に向かってコツコツと努力する。夢はきつと叶うと信じているから。



両足を交互に踏んで横糸を通します。最初はヒズイキをキャッチするのに手こずっていましたが次第に慣れた様子

# 地域と共に学ぶ授業

## ■介護ふれあい体験教室

10月29日、名音小学校では鹿児島県介護実習・普及センターと村社会福祉協議会の職員をお招きし、地域ジュニアふれあい体験教室を開催しました。

同教室は、不自由な生活を疑似体験し、高齢者や障害のある人への理解を深めるとともに、思いやりの心を育むことを目的として開催しています。

子供達は、指やひじ、膝などを装具で固定し関節の可動範囲を制限。顔面



動かない関節と狭い視野に戸惑う子供達

には白内障を模した視野を狭めるためのゴーグルを着用して校舎を歩きました。普段は気づかない廊下の傾斜や段差に悪戦苦闘しながら本棚から本を探し、また、不自由な手で食事をしたりするなどお年寄りや障害者の不自由さを体験しました。

不自由な生活を体験し、登喜龍生さん(小6)は「背中が曲がって辛かった。お年寄りの人が不自由なのがよく分かりました。これからは集落でお年寄りとお年寄りと声をかけて優しく接したい」と語りました。

「みんないっしょに 堂々と 大和の花を さかせよう」をキャッチフレーズに11月4日、大和小学校にて学習発表会が開催されました。

学習発表会は仲間と力を合わせて1年間学んできた成果を発表することで達成感や充実感を共感しようという毎年開催しています。

ステージでは1・2年生による野菜の生長を表現した劇「おおきくなあれ」や、

## ■学習発表会 (大和小)

「かがやけ49個の星!! 咲け! 大和の花」と題し、10月28日大和中学校にて大和中学学習発表会が開催されました。

発表会には生徒や保護者の他、卒業生、地域住民らが多数来場。子供達の表現する、弁論や英語暗唱、演奏や合唱、劇などの多彩な発表に見入っていました。

大和中学校は村内五つの中学校が統合して開校し、今年が2年目。開校時に定めた「個性の花咲く大和」のキャッチフレーズのとおり13の演目全てが個性的で独創的な内容。発表を通じて大和中の新たな伝統と校風が育まれていくと感じました。

上記の写真は2年生男子と先生による「大和浜棒踊り」の発表の様子。

子供達は地域の伝統文化を学ぼうと、総合的な学習の時間を利用して大和浜集落の方々から棒踊りを学びました。当日は12名が伝統の踊りを披露。棒や鎌を激しくぶつけて踊る様は、本家の大和浜集落の踊りに勝るとも劣らない見事な出来映え。迫力のある踊りに会場からは大きな拍手と歓声が沸きました。伝統ある郷土芸能を学び、子供達にとっても思い出に残る学習発表会となりました。



互いに棒や鎌をぶつけ合う勇壮な棒踊り

鮮やかな配色で彩られた葉っぱやお菓子が次々とあおむしに食べられていく様子を子供達は爛々と目を輝かせて見ていました。その他、三匹の山羊が冒険するというノルウェーの昔話「三びきやぎのがらがらどん」や、命の大切さを考える「いのちのまつり」など感動の物語を読み聞かせました。

小学校読書委員会委員長の高島洋さん(小6)は、「いろいろなお話が聞けて楽しかった。これからもいろいろな種類の本をたくさん読みたい」と語り、グループの方々へお礼を述べました。

子供達は多くの本を読むことで知識を広めるだけでなく、感動や共感を感じ、深い感受性と穏やかな心を育てて欲しいと思いました。

## ■学習発表会 (大和中)

村内小中学校で行われる運動会は地域住民が総出で大会を盛り上げます。都市部の運動会とは大分趣を異にし、住民が子供とともに楽しむ様子はさながら地域のお祭りの様な感覚でしょう。

取材を通じ、いもーれ学校週間は単なる授業参観というより、むしろ運動会に近いイベントだと感じました。来場者が子供達の成長と日頃の学習の成果を目の当たりにするとともに、大人自らが学校を楽しむことができます。

学校週間の期間中、食材と向き合い自然の恵みに感謝する授業がありました。また、達人の技に触れ郷土の伝統文化に誇りを持つ授業もありました。そして何より、子供達の成長を喜び感動する授業がありました。しかし、取材の中で学校週間が地域に浸透しきれていないと感じる一面もあり、広報担当としてPR不足を猛省もしました。

保護者のみならずもつと多くの地域住民が学校週間に参加すべきでしょう。地域の「見守り」は学校や子供達と思いを共有することから始まります。

「さあ、学校へいもーれ! (学校へお越し下さい)」。きつと子供達が笑顔で迎えてくれるはずですよ。

3・4年生による三味線演奏「島のブルース」、5・6年生による英語・島口劇「わたしたちの一年」など多彩な発表が行われました。

会場には保護者や地域住民など多数訪れ、子供達の一生懸命の演技に惜しめない拍手を送りました。

左の写真、笑点カラーの舞台上着物姿で並ぶ二人は湯湾釜分校2年生の浜井歩夢さんと政村李玖さん。担任の濱田小百合先生の指導の下、落語「寿限無」を完璧にマスター。2月間に及ぶ猛特訓の成果を見事に披露しました。



口上「一杯のお運び真に有り難く御礼申し上げます」

子供達はかけがえのない地域の宝です。家庭と学校と地域が一体となって見守りましょう。「さあ、学校へいもーれ! (学校へお越し下さい)」

## ■いもーれ学校!

大和小学校では11月7日、子供達の読書意欲を高めることを目的として読書集会を開催しました。

集会には奄美市立朝日小学校で読み聞かせ活動を行っているPTAのグループが参加。劇を交えて子供達に絵本の読み聞かせを行いました。

最初の絵本は、青虫がいつぱいお菓子を食べ最後は綺麗な蝶に変身するというストーリーの「はらぺこあおむし」。



この日は保育所の園児も参加し劇に大満足の様子

school information						
学校名	校長名	教頭名	学級数	児童生徒数	教職員数	PTA 会長名
大和小学校	晨原 弘久	馬場 修身	5	44	10	蔵 正
(湯湾釜分校)	晨原 弘久	馬場 修身	1	2	1	蔵 正
大柵小学校	山之内和英	上野 達也	3	29	7	前田 逸人
名音小学校	井上 正美	平山 淳郎	2	6	4	勝 健一郎
今里小学校	稲澤 弘久		1	3	2	森 博久
大和中学校	松尾 和義	大野 暁	3	49	11	内山 英寿
戸円小学校	( 休 校 )	※戸円小学校は平成25年4月1日で廃校となります。				

# 大柵V5達成! ★戸円躍進賞獲得!

## 大和村民体育大会成績一覧

種目	1位	2位	3位	種目	1位	2位	3位
小学1年女子 100m	林 琉音	中島 心那		ボール蹴り	大 柵	宮古崎	今 里
小学2年女子 100m	賀川 美紀	川畑光智慧	宮本 心満	宝つり	戸円・名音・今里		
小学3年女子 100m	佐多 萌笑	江崎 仁美	勝山 海音	新走回転	おがみ	大 柵	宮古崎
小学4年女子 100m	中島 心優	重信 優香	勝 えりい	俵運搬リレー	大 柵	今 里	おがみ
小学5年女子 100m	林 美嶺	山田 菜月	塩屋 美空	女子ファミリー縄跳び	大 柵	おがみ	大和浜
小学6年女子 100m	上野 真歩	武原 美希	森岡 めい	男子ファミリー縄跳び	おがみ	大 柵	今 里
小学1年男子 100m	出見 優斗	奥田 寛太	重田 俊輔	女子年代別リレー	大 柵	大和浜	名 音
小学2年男子 100m	中島 史晴	政村 李玖	奥平 光	男子年代別リレー	おがみ	大 柵	宮古崎
小学3年男子 100m	林 二刀流	窪山秀雲万	福田 幹太	女子輪入れ	大和浜	大 柵	宮古崎
小学4年男子 100m	直崎 広生	出見 颯	山下 竜輝	男子輪入れ	大和浜	大 柵	おがみ
小学5年男子 100m	賀川 翔瑛	愛川 祐生	久保 流清	タイヤ回し	大 柵	大和浜	宮古崎
小学6年男子 100m	内山 拓哉	高島 洋	登喜 龍生	女子百発百中	おがみ	名 音	戸 円
中学1年女子 100m	重野 七海	山田 千聖	大山瀬李華	男子百発百中	大和浜・大柵		多 重
中学2年女子 100m	出見友里香	大石 眞子	池田 彩音	綱引き	大 柵	名 音	宮古崎
中学3年女子 100m	堀 美南	吉原 唯	勝 朝美	メディシンリレー	大 柵	おがみ	大和浜
中学1年男子 100m	賀川 航太	福山 勇成	勝 純一	ムカデ競争	大 柵	大和浜	おがみ
中学2年男子 100m	前田凌太郎	小田 康太	林 聖蓮	リム回し	大 柵	今 里	おがみ
中学3年男子 100m	政村玲於奈	三浦 賢人	神田 佑八	玉入れ	大 柵	おがみ	大和浜
中学女子 200m (1)	重信 綾美	堀 美南	重野 七海	女子ゲートボール	名 音	大和浜・大柵・今里	
中学女子 200m (2)	山之内鈴音	福田そよか	大山瀬李華	男子ゲートボール	大和浜	宮古崎・大柵	
中学男子 200m (1)	直崎 大生	三浦 賢人	政村玲於奈	夫婦2人3脚	大 柵	今 里	おがみ
中学男子 200m (2)	愛川 蓮	林 聖蓮	賀川 航太	ピン倒し	大和浜	大 柵	宮古崎
高校女子 100m	前田 友梨	登 美砂希	野畑 優依	女子水入れ	おがみ	大和浜	大 柵
高校男子 100m	福島 秀太	畑島亮太郎	福山 一成	男子水入れ	宮古崎	おがみ	今 里
高校男子 200m	福島 秀太	藤村 倅生	仁規将太郎	小学 400m リレー	大 柵	おがみ	宮古崎
一般女子 100m	下之園由美	和泉 和香	森 仲子	中学 600m リレー	大 柵	大和浜	おがみ
一般男子 100m	市田晋太郎	宮田 龍	森 信之助	高校 600m リレー	おがみ	大和浜	宮古崎
一般男子 200m	森 信之助	伊集院 将	勝山 慎也	一般女子 400m リレー	大 柵	今 里	大和浜
30以上女子 100m	和泉 和香	佐多さおり	仁規ちあき	一般男子 800m リレー	大 柵	今 里	宮古崎
40代男子 100m	賀川 輝也	中村 修	林 就義				
50代男子 100m	山之内和英	岡崎 勇次	川畑 英作				
60代男子 60m	山崎 忍	福永 則雄	泉 有智				
一般男子 400m	市田晋太郎	川下 光	中島 繁				
一般 1,500m	宮本 聖平	太 純一	江崎 翔一				
男女総合	大 柵	おがみ	大和浜				
女子総合	大 柵	大和浜	おがみ				
躍進賞	戸 円						

# そんたいい開催!

## 第50回大和村民体育大会



①大会の華一般男子800Mリレー(大和浜・納孝行選手) ②老人クラブメディシンリレー(今里チーム) ③ジャンケン村一番決勝(白石輪くん・登美砂希さん) ④綱引き競争(宮古崎チーム) ⑤大会スローガン表彰(納幸代さん)・優秀スポーツ選手特別賞(長田虎太郎さん) ⑥ムカデ競争(大柵チーム) ⑦太鼓を叩いての応援(おがみチーム)

## 「スポーツと 結いで築く まほろば大和!」

第50回大和村民体育大会が10月7日、大和中グラウンドで開催されました。秋晴れの晴天の青空が広がる好天の下、村内から多くの選手と観客が来場。地域の名誉をかけて全力でプレーする選手達にまわりの観客からは大きな声援が上がりました。

大会競技は徒競走やリレーの他、大型ダンプのタイヤを転がす「タイヤ回し」、30キロの俵を持って走る「俵運搬リレー」、一升瓶に湯飲みで水を注ぐスピードを競う「水入れ」などのご当地競技を含めた全33種目で熱戦を競いました。

大会名物となった「ジャンケン村一番」では来場者全員が参加し、真剣勝負を展開。登美砂希さん(湯湾釜)が見事優勝し、豪華賞品を手に入れました。村内11集落を7チームに編成した地区対抗は、全種目で安定した力を発揮した大柵地区が5連覇を達成したほか、戸円地区が躍進賞を受賞しました(全成績は次ページに掲載)。

また、50回記念の大会スローガンは納幸代さん(名音)の「スポーツと結いで築く まほろば大和!」に決定。開会式にて表彰状と記念品が送られました。優秀スポーツ選手には鹿児島県秋期学年別水泳競技大会にて男子50m平泳ぎ、県中学新記録を樹立(31秒70)した長田虎太郎さん(大和浜)を特別表彰。その顕著な成績を称えました(お二人の写真は上記⑤)。

# キズナを タスキに ツナグ!



1区 愛川蓮選手(国直)



5区 三田陽一郎選手(思勝)



4区 藤村侂生選手(大棚)



9区 宮本聖平選手(津名久)

# 29'th イキデン

第29回集落対抗村内一周駅伝競走

第29回集落対抗村内一周駅伝競走大会が11月18日に開催され、今里鯉漁業記念碑前をスタートし、村体育館前をゴールとする14区間、全長約25キロのコースで競技が行われました。

大会には6集落から7チームが出場した他、選手編成等の事情から近年参加の途絶えていた戸円、名音、今里の3集落が「西部地区選抜チーム」として出場。沿道からは大きな声援が送られました。

レース序盤は区間ごとをめぐるしく順位が入れ替わる混戦となり、例年なら上位チームと差の開く難所「戸円磯平登り」(6区)まで上位4人が併走するという見応えのあるレースを展開しました。8区以降は大棚チームが安定した走りを見せ首位をキープ。首位でゴールに飛び込み、2年連続の優勝を果たしました。なお、躍進賞は2年連続4位の国直チームが獲得しました。

また、各区間の成績は、参加7チーム全てのチームから区間賞が出るという、混戦を象徴する結果となりました。

来年度の村内一周駅伝は第30回という節目の記念大会となります。今後の大会運営等については、村や教育委員会、運営委員会で協議が行われているとのこと。生涯スポーツの振興や、児童の健全育成、地域の結束と言った本大会の培ってきた意義が今後の発展に生かされるよう期待します。

## 大棚チーム連覇達成!

大会全成績

チーム名	選手名	通過順位	通過タイム											
総合	25.02	大和派	1:38:35											
1区	1.71km	平 昂大	0:07:08											
2区	0.94km	福島秀太	0:09:37											
3区	1.03km	豊 博志	0:17:02											
4区	2.71km	吉村公広	0:27:32											
5区	1.21km	森孝雄	0:34:41											
6区	1.45km	川下幸	0:41:48											
7区	2.5km	川野博司	0:49:47											
8区	0.99km	田島明日香	0:53:31											
9区	3.99km	川床拓也	1:08:54											
10区	2.42km	伊集院 遼	1:17:51											
11区	1.41km	前田凌太郎	1:23:26											
12区	1.13km	清平対象史実	1:28:12											
13区	1.54km	森 実乃	1:34:28											
14区	1.09km	中村修	1:38:35											
大棚A	酒井 大生	内山 拓哉	豊田 光夫	藤村 侂生	中藤 聖	今井 聖作	杉島 遼	酒井 京花	前田 凌太郎	大 健一	前田 博典	杉島 聖哉	藤 聖南	上野 達也
大和派	小田 康太	仁規 誠一	崎 洋行	豊田 康太郎	仁規 祥太郎	仁西 隼	岡 寛洋	藤田 孝太郎	前田 秀太郎	佐藤 光太郎	山田 翠月	内山 幸博	藤田 隼美	山田 亮美
津名久	林 聖雄	福山 拓実	中山 一三	三浦 賢人	藤田 孝太郎	藤元 太士	武原 正人	武原 希希	宮本 聖平	林 健聖	林 二乃哉	高井 淳子	林 美樹	林 就哉
国直	伊川 雄	塩原 俊太	西野 雄	福山 勇哉	森 悠之助	藤田 雄	小田島 文雄	塩原 勇空	江崎 雄太	福山 一兵	高井 洋	前野 千晴	西山 聖月	高井 健彰
西部地区選抜	安藤 颯	森 聖也	藤 栄一朗	高 拓樹	国直 平剛	藤山 慎也	森岡 徳史	時 えいひ	川下 光	白石 聡	白石 颯歌	宮田 愛	藤 まどか	梅田 健二
大棚B	内山 康平	森田 伸太郎	伊集院 遼	今井 聖	佐藤 規仁	酒井 武志	内山 実寿	上野 真歩	加藤 善昌	佐多 勇	酒井 広生	下之原 由典	中藤 心慶	前田 透人
思勝	赤崎 大輝	中藤 史晴	福本 新平	小松 泰弘	三田 聖一郎	山口 良彦	森 亮	吉野 唯	市田 智太郎	野崎 聖彦	出原 真	松尾 治子	和泉 和彦	松尾 和哉

# わきゃシマの唄で祈禱払い

## 思勝集落・キトバレ踊り

**ア**ラセツ、シバサシ、ダウンガは島のミハチガツ（八月三節）と呼ばれ、奄美大島各地で八月踊りが行われます。以前は三日三晩かけて集落全戸をまわったと聞きますが、現在は公民館や、トネヤ（集落の守り神を祀る家）など数カ所で踊るのが一般的です。

八月踊りは男女が交互に唄を掛け合い輪になって踊ります。それぞれ「打ち出し」と呼ばれるリーダー役が歌い出すと全員がこれに続けます。集落によって歌詞や節回しが異なり、八月踊りを見るだけで集落の地域性を見ることが出来、大変興味深く感じます。

思勝集落（元山安雄区長・65世帯）では、人口の減少や生活スタイルの変化により八月踊りの存続が危ぶまれる時期がありましたが、青年団を中心に一念発起。伝統文化を継承しようと日夜練習を重ね「キトバレ踊り」と名付け八月踊りを復活させました。

当日（10月13日）はあいにく雨模様となりまし

た午後7時に青壮年団・婦人会がトネヤの玉井俊一さん宅に集合。集落の安全を祈願した後、玉井さん宅の庭先で「足慣れ」を踊りました。会場を公民館前に移動した後も若者達は大きな声で唄を掛け合い、太鼓を打ち鳴らし、キトバレ（祈禱払い）の願いを込めて踊りました。



# 餅もろた～餅もろた～ヨイヤ～ヨイヤ～

## 湯湾釜集落・ムチモレ踊り

**湯**湾釜集落（元継男区長・47世帯）で11月28日（木）にムチモレ踊りが行われました。

ムチモレ踊りは、湯湾釜集落が大火事に見舞われた際に水利が悪く田んぼの泥を投げて火を消したという言い伝えに由来する伝統行事。防火と無病息災を祈願して毎年、旧暦の10月16日に行われます。

祭りの名の「ムチモレ」とは、各家々でカシャ餅（練ったサツマイモをクマタケランの葉で包んだ餅）が振る舞われことから呼ばれます。ちなみにカシャ餅は火事を消す際に使われた田んぼの泥を意味するとか。

踊りは、トネヤ（集落の守り神を祀る家）を振り出しに全世帯を一軒も漏らさず回り、深夜まで踊り明かします。踊り連は、女性用浴衣姿にスカーフや風呂敷で顔を隠した踊り手（子供や青年）と、三味線を弾く唄い手（壮年）、太鼓を叩く唄い手（婦人会）の3グループからなり、屋敷の中庭や玄関先で踊ります。踊りは八月踊りの様に決まりはなく、それぞれが思い

思いに手足を動かし陽気に踊ります。踊り手が顔を隠すのは「火事で負った火傷を隠すため」とか「単純に恥ずかしいから」など諸説あります。

ご当家からカシャ餅と金一封、飲食物等が振る舞われると、「餅貰たー！餅貰たー！」「ヨイヤー！ヨイヤー」と威勢の良い掛け声が上がりました。



# 消防エレファントトラック出動！

## 勝えりいさん・絵画コンクールで最優秀賞

**名**音小学校（井上正美校長・児童6名）4年生の勝えりいさんが社団法人鹿児島県トラック協会が主催する平成24年度「夢のあるトラック」絵画コンクールにおいて、最優秀賞（鹿児島県トラック協会会長賞・鹿児島県教育委員会賞）を受賞しました。

同コンクールは、小学生を対象に、『こんなトラックあったらいいな』と夢を描いてもらおうと同時に、トラックが身近な存在であることを認識してもらうことを目的に開催されています。

勝さんの作品は4,846点の中から最優秀賞（各学年から1名ずつ）に選ばれ、昨年の優秀賞に続き連続の受賞となりました。受賞作品は「消防エレファントトラック」という名の作品で、象の顔をした消防車が燃えさかる火事の現場で消火活動を行う様子を描いたもの。鮮やかな配色でイキイキと表現されており、勝さんは「象が鼻で水をすくって勢よく飛ばす姿をイメージしました」と語りました。

最優秀作品はトラックに拡大プリントされ1年間全国を走り回るとのことです。

名音小は児童数6名の小規模校ですが、児童ひとりひとりの個性に合わせた教育を行い芸術文化活動に積極的に取り組んでいます。これからも小規模校ならではの活動で様々な分野で活躍することを期待します。



# 節目の50年これからも家族仲良く

## 合同金婚式を開催

**大**和村合同金婚式が、11月28日（木）、大和村中央公民館にて開催され、結婚50年目を迎えたご夫婦を祝福しました。

祝宴はご出席いただいた瀬戸口豊蔵さん・ミツさん夫妻の50年の歩みやエピソードを紹介して開宴。開会のあいさつでは伊集院幼村長からご夫婦にねぎらいの言葉とこれまでのご功績に対し感謝の言葉が述べられたほか、お二人に記念写真と花束を贈呈しました。

祝宴は祝唄や祝舞に続き永野豊副村長の発声で乾杯が行われ、シマウタや舞踊など華やかな余興で盛大にご夫婦を祝福しました。

豊蔵さんは「結婚生活を振り返ると楽しいことも、苦しいこともたくさんありました。今思うと50年という月日は早いものでした。これから家族仲良く暮らしていきます」とお礼の言葉を述べました。

なお、対象のご夫婦は次のとおりです。

瀬戸口豊蔵さんミツさん、豊原祐生さんハマ子さん、

今田謙治さんシズノさん、盛源隆さんリツ子さん、森俊亮さんハツ子さん、浜崎正義さんスミ子さん、畑島清雄さんセツさん、福山勝弥さんトミエさん、永井満さんミスエさん、溝内勇さんムスエさん、溜畑秀憲さん善子さん、日高和好さんナスノさん。

地域の発展にご尽力され、結婚50年と言う節目を迎えたご夫婦の皆様方に心からお祝い申し上げます。





# 狩猟者のみなさまへ

## 奄美マングースバスターズからのお願い

これまでの事業の成果として、全島におけるマングースの低密度化とトゲネズミやケナガネズミなどの希少な哺乳類の生息状況の回復が確認されていますが、一方でこれまでマングースが分布していないと思われていた島の南西部(宇検村、瀬戸内町)で生息が確認されるようになり、捕獲実績は2011年度で17頭に達しています。

奄美マングースバスターズは、今後も力ごわなや筒わなによる捕獲を行うとともに、マングースの生息の有無を確認するためヘアトラップや自動撮影カメラによるモニタリング調査を実施します(写真)。

狩猟者の皆様には、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。  
・林道や林内には、写真のようなワナやセンサーカメラが設置されています。



センサーカメラ



ヘアトラップ

誤って触れてしまうと誤作動を起したり、場合によってはケガをすることもありますので、触らないようお願いいたします。

・奄美マングースバスターズは平日の朝から夕方に、山中でわな点検等のため巡回作業をしております。目立つ服装(白いヘルメットや黄色い雨具など)を着用し、鈴を携帯しております。銃器による狩猟の場合は特に矢先の確認等ご注意ください。



マングース探索犬(現在3頭)

・マングース探索犬(写真:マングースのフンや巣穴などを確認するための犬)を伴った作業は、作業道から外れて行うこともあります。矢先の確認を徹底していただきますよう、よろしくお願ひします。



筒ワナ

### 奄美マングースバスターズの活動に関するお問い合わせ

- ・マングースによる農作物被害や目撃情報があった場合
- ・農作物被害対策としてのわな設置を希望する場合
- ・わなの設置場所についてのご相談
- その他、ご意見・ご要望等ございましたらご連絡下さい

- 一般財団法人自然環境研究センター  
奄美大島事務所  
奄美市名瀬浦上町10-4  
TEL: 0997-5814013
- 環境省奄美野生生物保護センター  
大島郡大和村思勝字腰ノ畑551  
TEL: 0997-5518620



日本には四季の移り変わりがあります。これは、地球が少し傾いて自転しながら太陽の周りを回っているためですが、みなさんは、季節の移り変わりをどのようなことから感じますか。体感温度や日の出日の入りの時間、タンカンやスモモなど作物の収穫、集落行事など季節の感じ方や楽しみ方は、各地域によって、人様々あると思います。

奄美大島には、ルリカケスやカラスバト、オーストンオオアカゲラなど一年を通して奄美に生息している「留鳥」が数多く生息していますが、冬にはサシバやシロハラ、キセキレイ、夏にはアカシヨウビンやサンコウチョウなどの「渡り鳥」が越冬や繁殖などのために奄美大島に渡って来ます。渡り鳥の姿を目にした時も、季節の移りを感じる一つで、奄美大島ならではの魅力だと思います。

現在までに日本全土で記録された野鳥の種数が約600種に対し、奄美大島での確認数は約300種にのぼります。日本の全面積の1%ほどの広さの奄美大島に、約半数もの野鳥が確認されていることから、奄美大島が野鳥にとっていかに重要な繁殖、越冬地、中継地であるということがわかります。

海を渡り、遠くは海外からやって来る小さな旅人たち。その姿や鳴き声に注目してみてください。新たな出会いがあるかもしれません。

大和村自然保護推進員 勝間田さとみ



サシバ



ひらおか そうる

平岡 爽琉さん  
保護者・平岡 結実さん(大和浜)

カメラを向けるととびつきり  
の笑顔で応えてくれました。

杉島 希空さん  
保護者・杉島 勇さん(大棚)



すぎしま のあ

前回掲載時に誤植がございました。おわびして再度掲載いたします。

### ご結婚おめでとう

中山 一三さん(津名久)  
坂梨 友美さん(熊本市)

### お誕生おめでとう

吉本 凰雅さん(吉本弘典・湯湾釜)  
お悔やみ申し上げます

戸内 信一様(77歳・名音)  
玉野 興市様(94歳・大和浜)  
武原 慶治様(92歳・津名久)  
満井 定吉様(84歳・津名久)  
久保 謙良様(85歳・大棚)  
春日 シゲ様(96歳・津名久)  
田河 キネ様(83歳・戸円)  
宮 ナス様(100歳・大和の園)

### 香典返し(社会福祉協議会へ)

玉野 公和様(故玉野興市様)  
武原ノブ子様(故武原慶治様)  
満井 秀久様(故満井定吉様)  
藏 久子様(故幸アリ様)  
當 宮男様(故田河キネ様)  
宮 静彦様(故宮ナス様)

### ふるさと納税ありがとうございました

濱崎ヨツ子様(鹿児島市)  
泉 富蔵様(神奈川県)  
梅崎 義人様(東京都)

### 広報誌謝礼ありがとうございました

泉 富蔵様(神奈川県)  
内野美佐雄様(兵庫県)



# 野山の



# 石株蘇鉄



ソテツ（蘇鉄）は、畑の土留めや防風林、緑肥用樹、何より非常時の飢餓食として利用され、奄美の人々の暮らしと密接に関わってきました。

著しく成長が遅く、恵まれた環境では他の植物に覆われてしまうソテツは、海水や潮風、強い日差しに曝される海岸線の岩場一帯など厳しい環境に住処を求めました。

厳しい環境の中ソテツは風雨に絶える頑丈な幹と乾燥から身を守る固い葉、空気から養分を取り込む特殊な根を武器に、たくましく生き抜いてきました。

磯端ぬ蘇鉄や

石株に抱かとうていほでてい

吾やアンマとジユウに

抱かとうていほでてい

これはシマウタ「豊年節」の一節。

歌詞の意味は、「海岸線のソテツは岩に抱かれて成長しますが、私は母と父の愛に抱かれて成長しました」

メロディを奏でながらそう説明してくれたのは志戸勘にお住まいの宮田益慶さん（65歳）。



宮田さんは、村内外で有名なウタシヤ（唄者）。独特な味わい深い声と澄んだ裏声の持ち主でシマウタに関する深い造詣もお持ちです。この日も曲にまつわるエピソードや、歌詞の解説など興味深い話をお聞きする中、「ぜひ広報誌でPRして」と、教えていただいたのが写真の石株蘇鉄。戸円小学校上、県道沿いに自生する立派なソテツでした。

草に覆われた斜面を伐採しながら進むと、恐らく以前はヤマバテ（山腹の段々畑）であったそこに置にして2層ほどの巨岩が鎮座。その巨岩を巨大なソテツが抱いていました。数本に枝分かれした見事な枝振りほまさに「石株蘇鉄」。わずかな水と養分を糧に戸円の厳しい自然を生き抜いてきたのでしよう。

撮影を終え振り返ると眼下には来年4月に廃校となる戸円小学校が見えました。少子化の影響で教育環境は大きく変貌し、学校の存続さえ危ぶまれる時代です。いつまでも石株蘇鉄のようにアンマとジユウ、そして地域全体で子供達をホデサセル（成長させる）村であつて欲しいと願います。

## こせきの窓

人口	1,673人	(△38)
男	801人	(△21)
女	872人	(△17)
世帯	883戸	(△14)

11月1日現在  
(前年同月比)



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。  
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課  
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地  
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161  
mail:info@vill.yamato.lg.jp  
<http://www.vill.yamato.lg.jp>